BlackRock.

ブラックロック・グローバル・
インベストメント・シリーズ

グローバル・アロケーション・ポートフォリオ

「クラスA受益証券（米ドル建て）」
「クラスA受益証券（豪ドル建て）」

ルクセンブルグ籍オープンエンド契約型
外国株式投資信託

販売用資料　2025年8月

お申込みの際は必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面などの内容もご確認ください。

投資信託取引に関する注意事項

- 投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、SMBC信託銀行で取扱う投資信託は金融商品仲介口座を通じた取扱いの場合を除き、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、元本・利回りの保証はありません。

その他のご留意事項

※お申込みの際には、「外国証券取引口座約款」に基づき、外国証券取引口座を設定していただく必要があります。

※米国税法上の米国人(米国市民、米国居住者またはグリーンカード保有者)は、居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者およびSMBC信託銀行への届出住所が日本国外のお客様についても同様となります。

※本資料は販売用資料としてSMBC信託銀行が作成したものです。本資料に記載された情報は、十分信頼に足ると考えられる情報源に基づいておりますが、その情報の正確性、完全性および公平性については、SMBC信託銀行並びにその関連会社が保証するものではありません。また、その情報を使用することにより生ずる、直接または間接のいかなる損失に対しても、責任を負うものではありません。本資料に記載された内容は作成時点のものであり、今後予告なしに変更される事があります。

※ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ（以下「BGIS」または「ファンド」といいます。）－ グローバル・アロケーション・ポートフォリオ（以下「ポートフォリオ」といいます。）の受益証券の価格は、ポートフォリオに組み入れられる有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。

※ポートフォリオの受益証券を取得される場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

※本資料は、ポートフォリオの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でSMBC信託銀行が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

PRESTIA

商 号 等：株式会社SMBC信託銀行
登録金融機関　関東財務局長（登金）第653号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

管理会社
ブラックロック・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エー

投資顧問会社
ブラックロック・ジャパン株式会社

ポートフォリオの特徴

世界中の様々な資産へ機動的に投資し、投資機会を追求
主として世界の株式、債券および短期証券に分散投資します。投資に当たっては、資産の種類、地域、銘柄、資産配分等に運用制限を設けず、**世界各国の魅力的な資産、銘柄に機動的に投資**することにより収益の追求を目指す投資信託証券を主要投資対象とします。

経験豊富なプロフェッショナル集団によるチーム運用
運用チームは、**ブラックロックの世界中の様々な運用インフラを活用**し、非効率性が潜んでいる様々な資産の種類、地域、セクターの中から**割高な銘柄を排除し、割安であると判断される銘柄を組み入れる**ことにより、中長期的なトータル・リターンの最大化を目指します。

ファンド・オブ・ファンズ形式
当ポートフォリオは、ブラックロック・グローバル・ファンズ(以下「BGF」といいます。)のサブ・ファンドであるグローバル・アロケーション・ファンド(以下、投資対象ファンド)を投資対象とし、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用します。

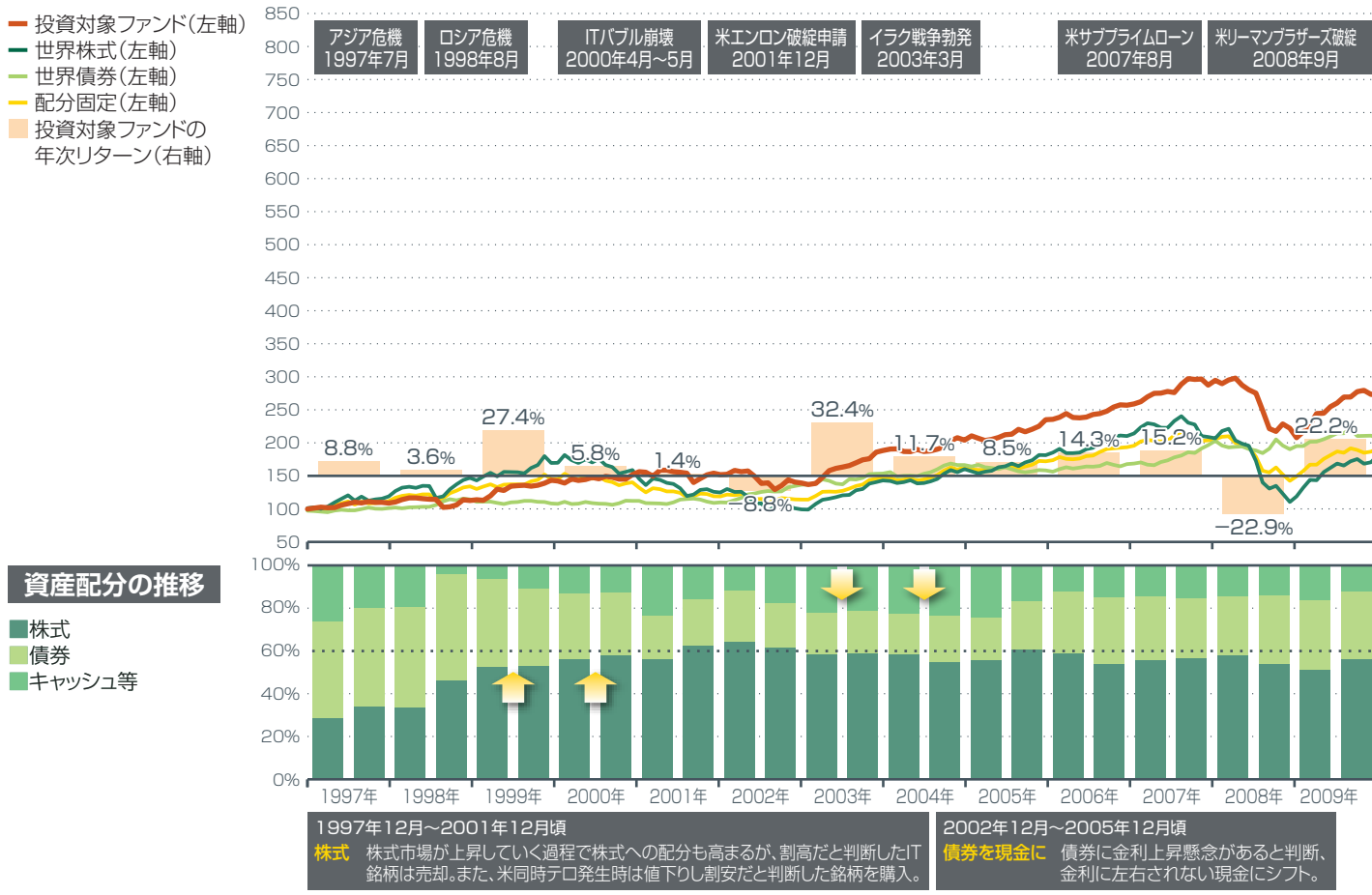
米ドル建て、豪ドル建ての2つの受益証券
豪ドル建て受益証券は、**為替ヘッジを行います。**

過去のパフォーマンスが物語る収益の追求

過去のパフォーマンスは、市場環境にとらわれず、比較的安定的な運用成果を残してきました。
戦略的なアロケーション変更も含めた機動的な運用スタイルは、収益の追求に加えて、リスク・コントロールの面でも力を発揮することが期待されます。
※過去の実績は、将来の運用成果等を保証するものではありません。

投資対象ファンドの過去のパフォーマンス実績と年次リターン(米ドル建て)

期間:1997年1月～2025年5月(月次)。投資対象ファンドの設定日

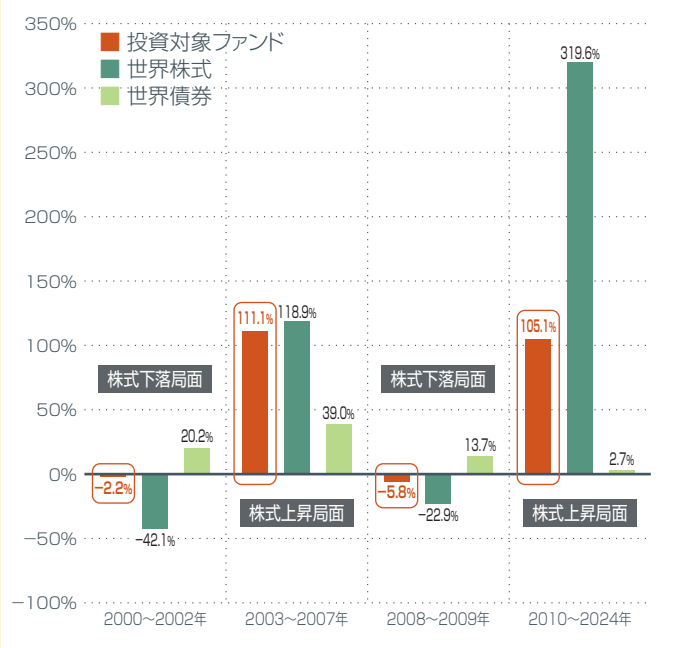


出所:ブラックロックおよびブルームバーグ　資産配分の推移の期間:1997年6月～2024年12月、半年毎データ
※資産配分の推移は、投資対象ファンドと同様の手法で運用されている「ブラックロック・グローバル・アロケーション・ファンド」(設定日:1989年3月2日)の過去の投資比率を基に
※資産配分はあくまで参考であり、ポートフォリオの資産配分から乖離することがあります。また、必ずしも各時点における割安銘柄の所在を表すものではありません。
※配分固定は世界株式を60%、世界債券を40%保有したとして算出。

当資料使用のデータは、世界株式:MSCIワールド・インデックス*1、世界債券:FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*2を使用しています。
*1 MSCIワールド・インデックスは、日本を含むグローバルな株価指数であり、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、
*2 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LCC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均

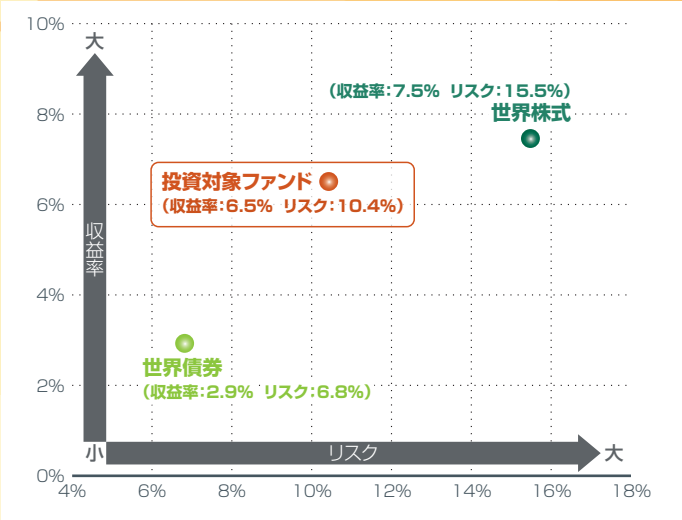
※当資料に記載の運用実績は、当ポートフォリオの投資対象ファンド(米ドル建て)のクラスA投資証券であり、実際の投資対象であるクラスX投資証券と管理
詳しくは当資料の最終ページ及び投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

株式市場の上昇・下落の両局面における安定的なリターン



出所：ブラックロック

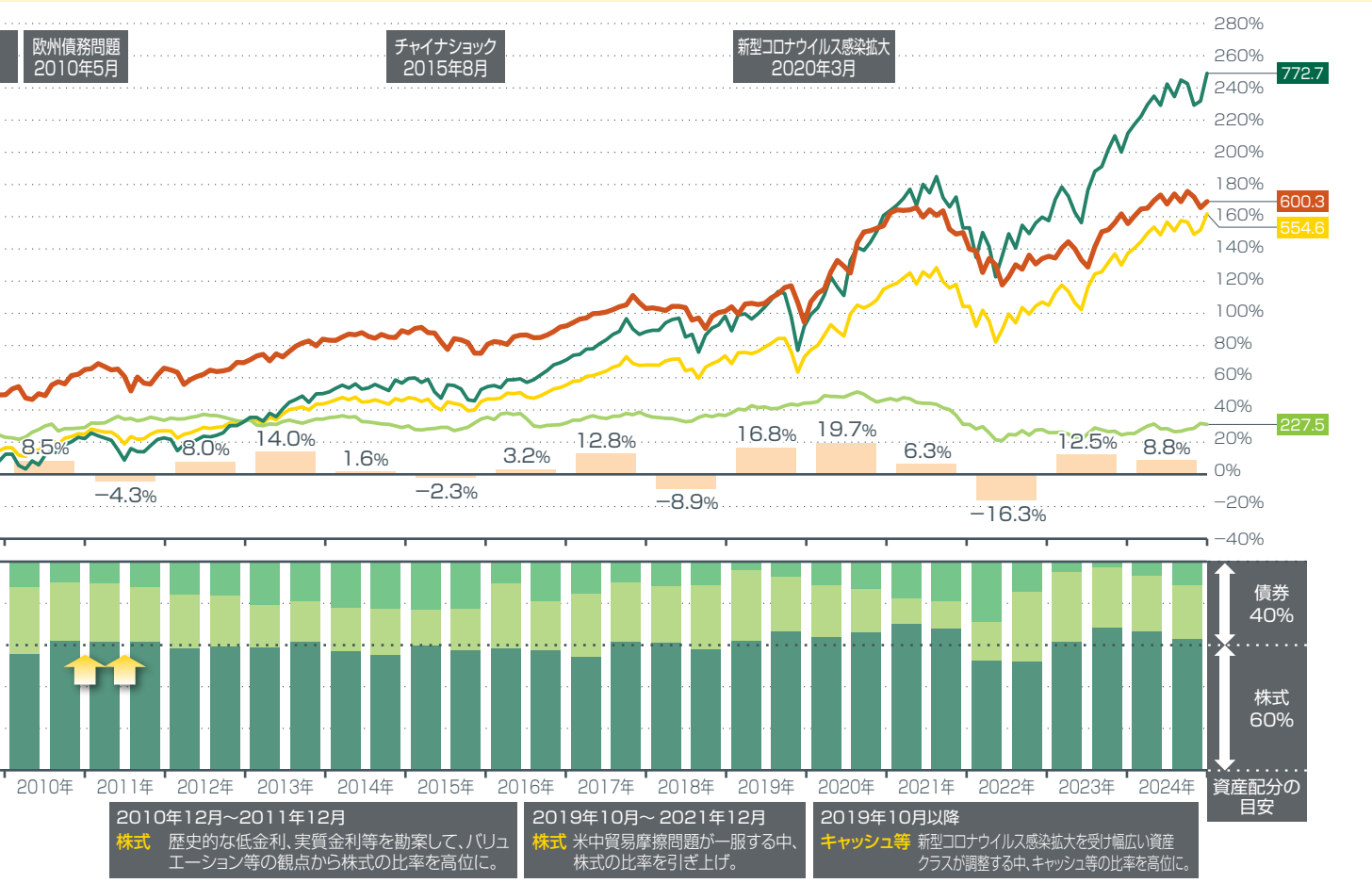
リスクとリターン



出所：ブラックロックおよびブルームバーグ
期間：設定日(1997年1月3日)前日から2025年5月末の月次の実績を年率換算で算出

リスクは期間中のデータを基に算出した標準偏差を使用しており、標準偏差の数値が大きいほど変動性（値上がり幅あるいは値下がり幅が大きくなる可能性）が大きいことを示します。

（1997年1月3日）前日を100として指数化



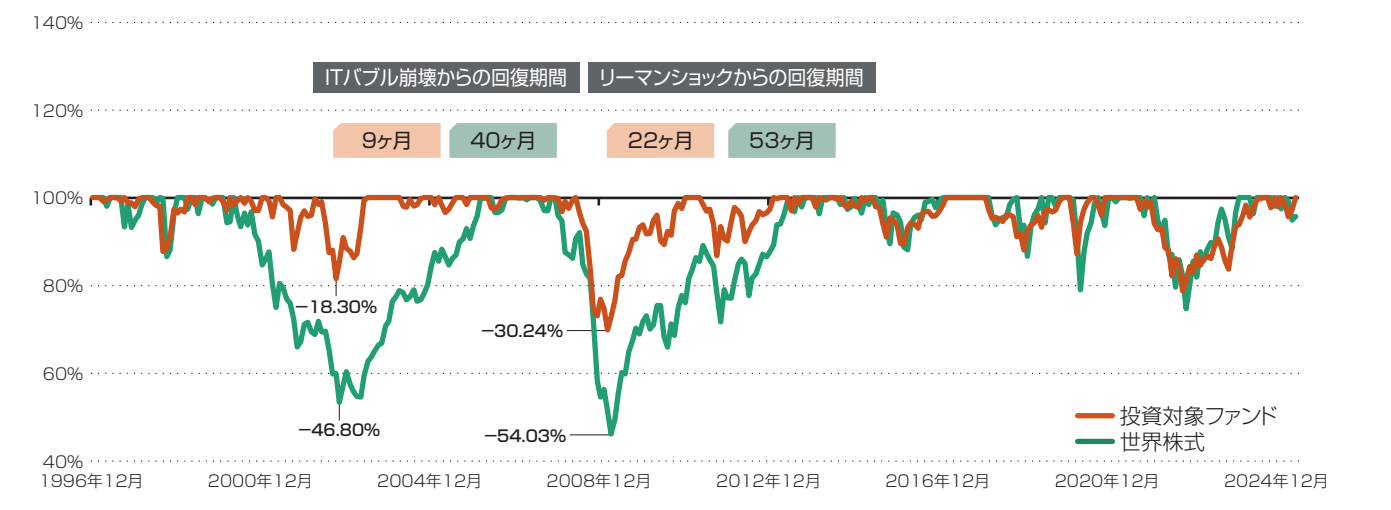
作成しており、将来の運用成果等を保証するものではありません。

MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LCCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed IncomeLCCが有しています。

報酬が異なります。また、上記のグラフは過去の実績（費用控除後）であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ドローダウン*1と回復期間*2

主要投資対象ファンドはリスクを抑制した運用を行うことで、ITバブル崩壊、リーマンショック後の大幅な相場下落時にも低いドローダウンで短期間でパフォーマンスを回復させていることが分かります。

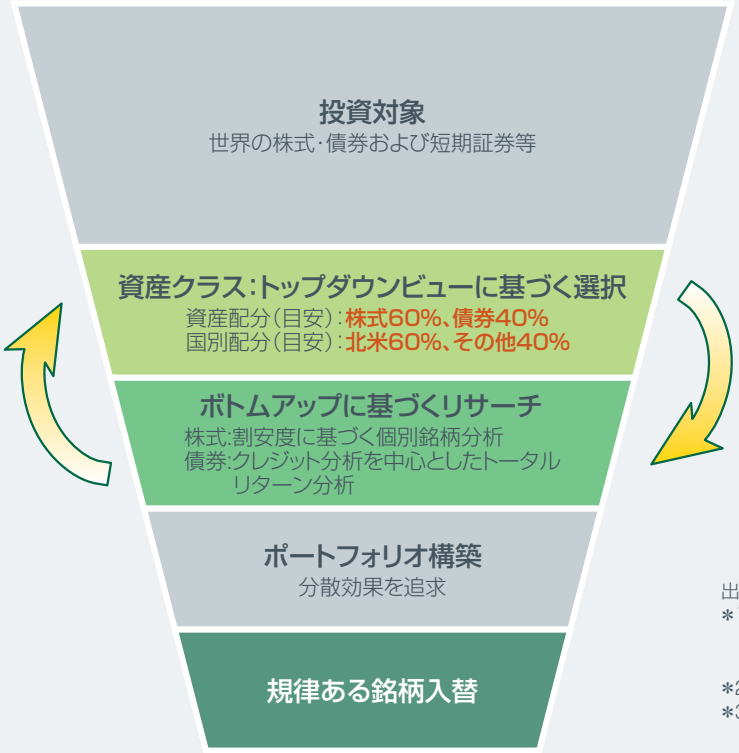


データ期間：1996年12月末～2025年5月末（月次）　出所：ブラックロック、ブルームバーグ
*1 直近最高値からの下落幅
*2 最大下落時点から直近最高値への回復に要した期間
上記は過去の実績を示したものであり、将来の動向や運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

戦略的アロケーション運用 – 世界各国の魅力的な資産、銘柄に機動的に投資

投資対象ファンドの運用プロセス

トップダウン*1とボトムアップ*2のアプローチを融合し、割高であると判断される銘柄を排除し、割安であると判断される銘柄を組み入れることにより、中長期的なトータル・リターンの追求を目指します。



投資対象資産

世界の株式等
先進国から新興国まで幅広く
国・地域、業種、企業規模などに制約を設けず投資
北米株式 | 日本株式 | 新興国株式 | 欧州株式 | アジア株式 | REIT

世界の債券等
先進国から新興国まで幅広く
米国国債・社債 | 欧州国債・社債 | 新興国国債・社債 | インフレ連動債*3 | ハイイールド債券 | 転換社債等

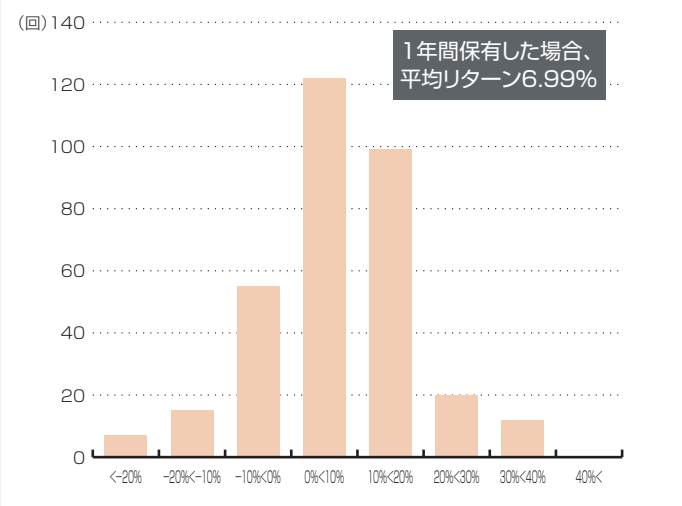
現金等
短期金融商品等にも投資
短期金融商品 | キャッシュ

出所：ブラックロック
*1 トップダウン（・アプローチ）：経済成長率や物価、金利、為替などマクロ経済の分析を基に投資対象を選定するとともに、資産配分比率を決定しポートフォリオを構築する方法
*2 ボトムアップ（・アプローチ）：個別銘柄の分析をもとに、投資対象を選定する方法
*3 インフレ連動債とは、一般的に元本が物価の変動に応じて増減するため、物価が上昇すれば元本が増加し、物価が下落すれば元本が減少する債券です。利息の額（クーポン）も各利払い時毎に物価の変動に応じて変化します。
※ 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
※ 将来の市場環境等の変動により、組入銘柄数は変更される場合があります。

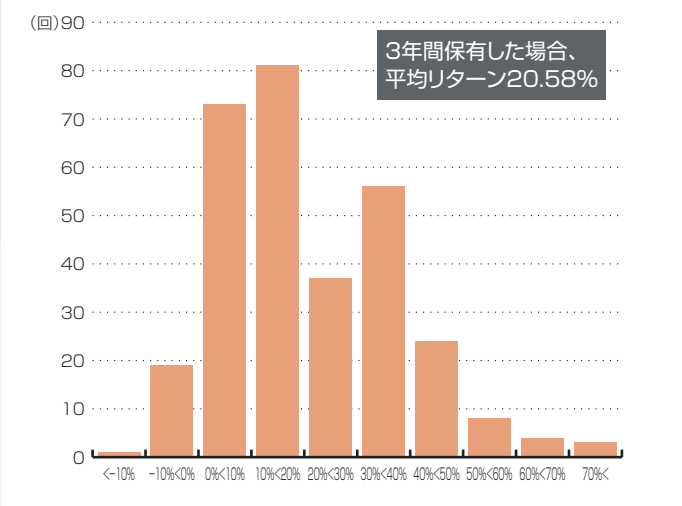
長期保有に適した運用戦略

投資対象ファンドの保有期間別の収益率実績（米ドル建て）をみると、長期保有することで収益率がマイナスになる回数が減るという試算結果が出ています。

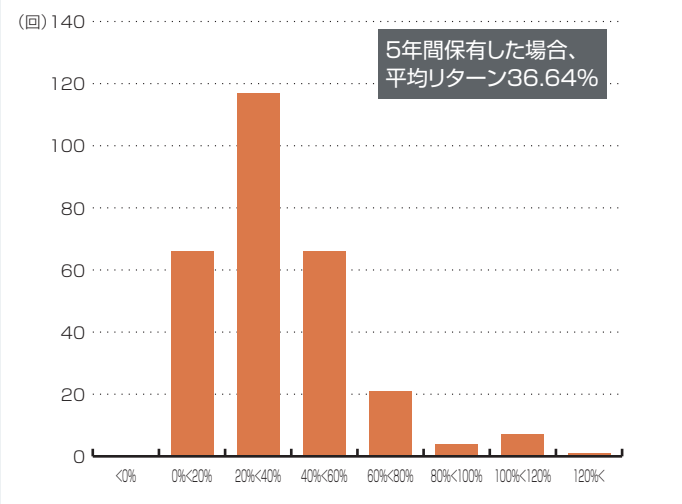
1年間保有した場合



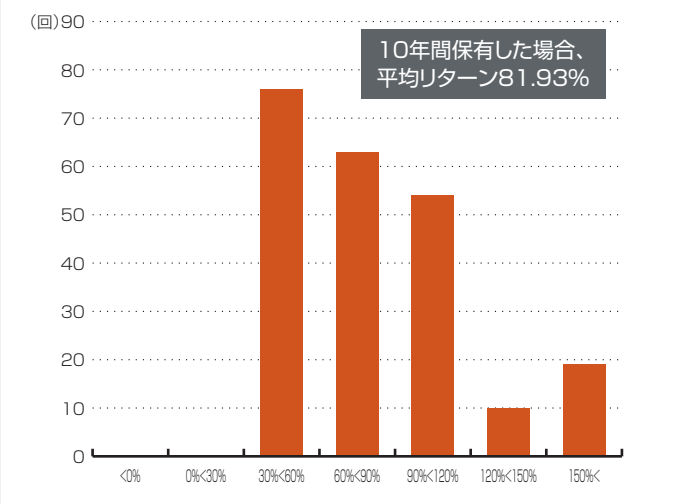
3年間保有した場合



5年間保有した場合



10年間保有した場合



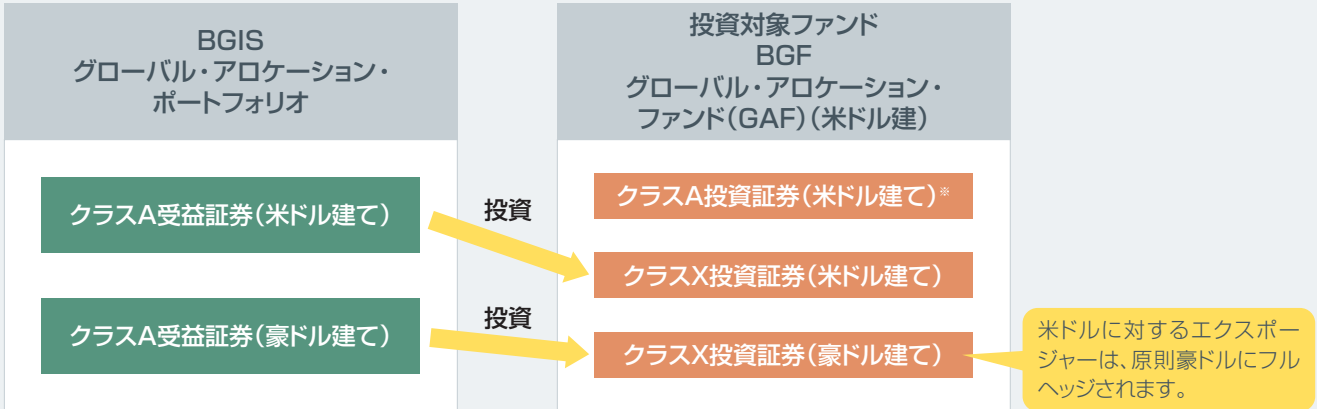
データ期間：設定日（1997年1月3日）前日～2025年5月末（月次）　出所：ブラックロック

※上記は、1997年1月3日（設定日）から2025年5月末までの期間において、各月末時点の1年前、3年前、5年前、10年前から、投資対象ファンドに投資した場合のそれぞれの投資収益率です。使用データに関してはP1、2下部をご参照下さい。

※上記リターンは、年率換算していません。

上記は、過去の実績および試算を示したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当ポートフォリオの仕組み



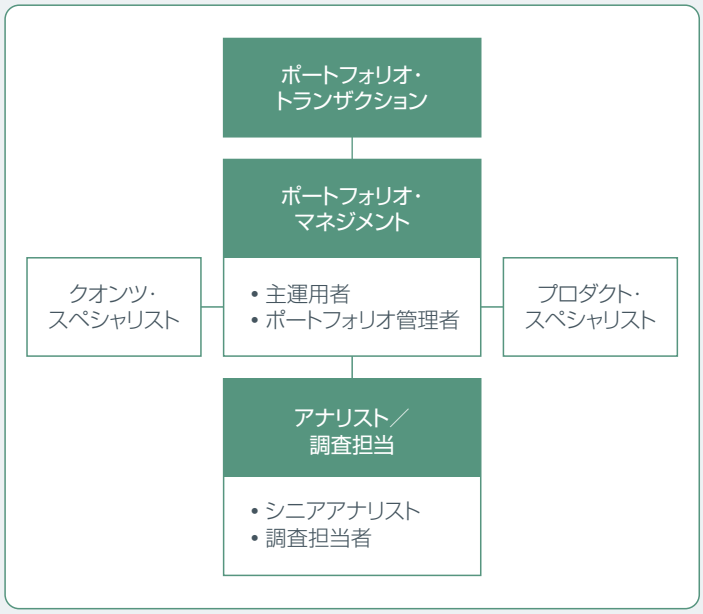
※クラスX投資証券は運用実績が短いため、運用実績の長いクラスA投資証券の運用実績を当資料では使用しています。クラスA投資証券の運用管理報酬は年率1.50%となっております。クラスX投資証券ではこの運用管理報酬はかかりません。詳しくは当資料の最終ページ及び投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

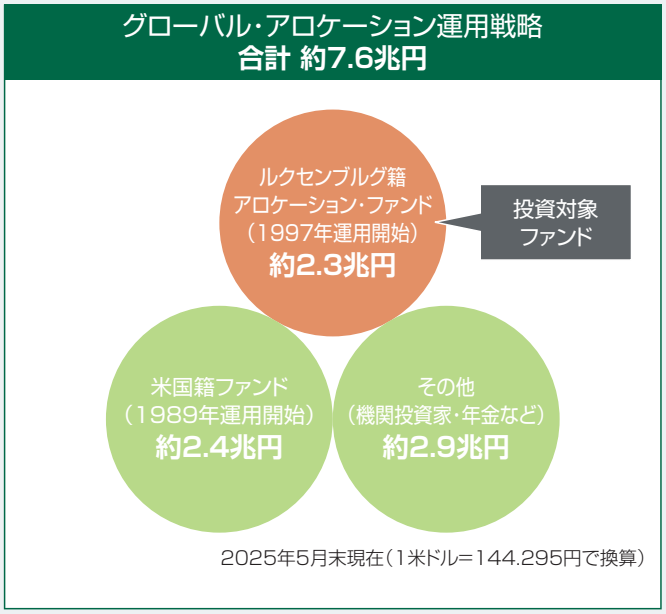
経験豊富なプロフェッショナル集団

投資対象ファンドは、幅広い資産クラス、運用手法を有するブラックロック・グループのグローバルな運用リソースも活用し、1つのチームで運用されます。

投資対象ファンドの運用チーム

- 株式、債券、クレジット、通貨、クオンツ分析について各々が役割を担いながら意思決定を行うチーム運用
- 経験豊富な運用者を多数配置、主運用者の運用経験年数は約40年（2025年5月末現在）。歴史・残高ともにブラックロックを代表するファンドの1つです。





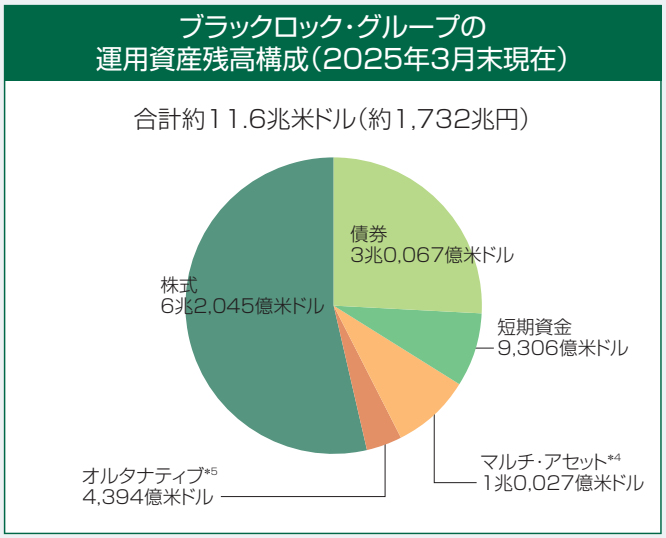
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。今後変更となる場合があります。

世界最大級の運用資産残高（約1,732兆円：2025年3月末現在）を有するブラックロックが運用

世界の運用機関資産残高ランキング

（兆円）

順位	運用会社	資産残高
1	ブラックロック	1,411.1
2	バンガード・グループ	1,211.5
3	フィデリティ・インベストメンツ	646.0
4	ステート・ストリート・グローバル	581.9
5	J.P.モルガン・チェース	482.4
6	ゴールドマン・サックス・グループ	396.4
7	UBS	369.4
8	キャピタル・グループ	357.1
9	アリアンツ・グループ	346.0
10	アムンディ	317.2



出所：ブラックロック
※日本円への換算は、WMロイター（1米ドル=149.54円）のレートを適用。
*4 複合資産
*5 オルタナティブには、コモディティおよび通貨に関する運用受託を含む

出所：Pensions & Investments "The world's largest 500 asset managers - A Thinking Ahead Institute and Pensions & Investments joint study- " as of Dec. 31, 2023、ブラックロック　資産残高円換算レート：1ドル=140.980円（WMロイター、2023年12月末時点）
注意事項：このランキングは、2023年12月31日現在のグローバルの資産運用残高10.00兆米ドルに基づいて作成されたものです。このランキング情報は2024年10月21日発行の紙面に掲載されており、さらにwww.pionline.com/specialreportsからもご覧頂けます。ランキングに関する情報の転載は許可が必要です。Pensions & Investments. copyright.

主な投資リスク

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

受益証券1口当たり純資産価格の変動要因

ポートフォリオの受益証券1口当たり純資産価格は、ポートフォリオに組み入れられる有価証券等の値動きのほか為替変動による影響を受けて下落または上昇するため、これにより投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではなく、損失を被ることがあります。これら運用による損益はすべて受益者（投資者）に帰属します。投資信託は、預貯金と異なります。
ポートフォリオに対する投資は、ポートフォリオの受益証券の純資産価格の変動、信用リスク、レバレッジ・リスク、金利リスク、為替リスク、かかるポートフォリオの組入対象およびポートフォリオの受益証券の流動性リスク、ならびにその他のリスクを含む、重大なリスクを伴います。
ポートフォリオは、投資対象ファンドへの投資を通じて、実質的に世界各国の様々な証券に投資します。ポートフォリオおよび投資対象ファンドが有する主なリスクとしては、以下のものがあります。

受益証券の価格

受益証券の価格および受益証券からの収益は、上昇することも下落することもあります。投資者は、自身にとっての基準通貨以外の通貨で投資する場合、かかる基準通貨に対して上昇することも下落することもある為替変動の影響を受けるということを認識するべきです。

固定利付の譲渡性のある証券

債務証券は、信用度に関する客観的および主観的判断基準に服します。格付を付与されている債務証券の「格下げ」またはファンダメンタルな分析には基づかない否定的評判および投資家の判断は、特に薄商いの市場において証券の価値および流動性を低下させます。
実勢利率の変動および信用度が、ポートフォリオおよび投資対象ファンドに影響することになります。
一般的に金利が下落すると固定利付証券の価格は上昇し、金利が上昇すると固定利付証券の価格は下落する、という具合に、ポートフォリオの資産価値は、市場の金利変動の影響を受けます。金利変動への反応は、短期証券の価格の方が長期証券に比べ、概して少なくなります。

新興市場

特定の小規模市場および新興市場（それらは、典型的には、経済および／または資本市場の発達水準が低く、かつ、株価および通貨変動性が高い開発途上の国々の市場です。）の投資対象を含むことがあります。かかる市場の一部については、相当程度の経済的成長が見込まれ、成長が達成されることにより、株式リターンが、成熟した市場を超える可能性を有しています。ただし、株価および通貨のボラティリティは、一般に、新興市場の方が高くなります。

新興国ソブリン債

特定の新興国は、商業銀行および外国政府に対して特に多くの債務を抱えています。新興国ソブリン債への投資は高いリスクを伴います。新興国ソブリン債の返済を管理する政府事業体が、元本および／または利息を、当該債務の条件に従って期限が到来した際に返済する能力または意思がないことがあります。

国際投資

国際的な投資は、為替相場の変動、将来の政治的および経済的発展ならびに為替管理またはその他の国家の法律もしくは制限が課される可能性を含む一定のリスクを伴います。各国の証券価格は、その異なる経済、金融、政治および社会的要素により影響を受けます。ポートフォリオは、様々な通貨建ての証券に投資するため、為替相場の変動は、ポートフォリオの組入証券の価値に影響を及ぼします。更に、ポートフォリオの投資は、回収不能な源泉税の対象となることがあります。

外国投資に対する制限

国によっては、外国事業体による投資に対し禁止したり、または相当の制限を課したりします。外国の投資家が一定の国々の会社に投資できる方法およびかかる投資に対する制限がポートフォリオの運営に不利な影響を及ぼすことがあります。

投資対象ファンド（BGF−GAF）への投資に伴うリスク

クラスA受益証券（豪ドル建て）の米ドルに対するエクスポージャーは、主にBGF−GAF内のクラスX（ヘッジ付）投資証券（豪ドル建て）への投資により豪ドルにヘッジされます。クラスA受益証券（豪ドル建て）の投資者は、フルヘッジに近づけることが意図されているものの、ある期間において、特にある時点において受益証券がBGF−GAFのクラスX（ヘッジ付）投資証券（豪ドル建て）へ完全に投資されていない場合、受益証券がアンダーヘッジまたはオーバーヘッジになる可能性があることに留意すべきです。ポートフォリオにおいては為替ヘッジは行われません。

上記は純資産価格の主な変動要因であり、変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ポートフォリオの取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

投資顧問会社およびオルタナティブ投資ファンド運用会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っています。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてポートフォリオの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ポートフォリオの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内の関係者で共有しています。また、投資顧問会社およびオルタナティブ投資ファンド運用会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っています。

（注）上記の記載は、2025年5月末日現在のものです。リスクの管理体制は、変更される場合があります。

※詳細は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ（SMBC信託銀行でお申込みの場合）　お申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

信託期間	ファンドおよびポートフォリオは、存続期間を無期限として設定されています。なお、ポートフォリオは、2010年8月20日に運用が開始されました。
申込単位	申込単位は、以下または管理会社が決定するその他の申込単位とします。 当初申込単位：クラスA受益証券（米ドル建て）：3,000米ドル以上0.01米ドル単位 クラスA受益証券（豪ドル建て）：3,000豪ドル以上0.01豪ドル単位 追加申込単位：クラスA受益証券（米ドル建て）：100米ドル以上0.01米ドル単位 クラスA受益証券（豪ドル建て）：100豪ドル以上0.01豪ドル単位
申込価格	各申込注文が有効になる営業日*の受益証券1口当たり純資産価格
計算期間	毎年2月1日から翌年1月31日まで
収益分配	ポートフォリオについては、分配金の支払は予定されていません。
換金単位	1口以上、1／100口単位 （保有全受益証券売却の場合は1／100口以上、1／100口単位）
換金価格	原則として、買戻注文が有効となる営業日に計算される受益証券1口当たり純資産価格
換金代金	日本において買戻請求の成立を確認した日（通常発注日の日本における翌々営業日）から起算して原則として日本における4営業日目以降に、日本における販売会社を通じて支払われます。 ※日本における販売会社が、投資者との間で別途取り決める場合があります。詳細は日本における販売会社へお問い合わせ下さい。
課税関係	税法上、公募外国株式投資信託として取り扱われます。原則として収益分配時の分配金、換金時および償還時の譲渡所得等に対して課税されます。ただし、将来における税務当局の判断によりこれと異なる取扱いがなされる可能性もあります。 ※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
インターネット取引	可　SMBC信託銀行・ホームページ　https://www.smbctb.co.jp

＊「営業日」とは、原則として、ルクセンブルグおよび日本の銀行ならびに日本の金融商品取引業者の各営業日（クリスマス・イブを除きます。）である日、または管理会社の取締役会が決定し、合理的に実施可能な場合には受益者にあらかじめ通知するその他の日をいい、当該受益証券の純資産価格の決定の停止または本書に記載される受益証券の発行の停止の場合を除きます。
※SMBC信託銀行の判断により、取扱いが停止となることがあります。詳しくは、SMBC信託銀行にお問合せください。

手数料および費用等について

投資者が直接的に負担する費用	
申込手数料	10万米ドル／豪ドル未満：3.30%（税抜3.0%） 10万米ドル／豪ドル以上30万米ドル／豪ドル未満：2.20%（税抜2.0%） 30万米ドル／豪ドル以上100万米ドル／豪ドル未満：1.65%（税抜1.5%） 100万米ドル／豪ドル以上：1.10%（税抜1.0%） ※詳しくは販売会社または申込手数料を記載した書面（目論見書補完書面）にてご確認ください。 ※税制が改正された場合等には、上記手数料率が変更される場合があります。
買戻し手数料	買戻し手数料は徴収されません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
管理報酬	純資産価額の年率0.75%　年間管理報酬は約款に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
販売報酬	純資産価額の年率0.70%　年間販売報酬は、投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%　年間代行協会員報酬は、受益証券1口当たり純資産価格の公表および受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類の日本における販売会社に対する送付等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用・手数料	保管報酬、管理事務代行会社報酬、名義書換事務代行会社報酬、管理業務会社手数料については、随時変更されるため定められた料率を開示することができず、計算方法または上限額等も表示することができません。 ファンドの運営に関するすべての費用（税金、法務および監査費用（弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等）を含みます。）はファンドにより支払われます。特定のポートフォリオに帰属しない経費および費用は、ポートフォリオに等分に配分されますが、通常、比率で示したポートフォリオの純資産価額をベースに比例的に按分されます。ファンドの一般的な管理費用は、各ポートフォリオの受益証券の各クラスに、当該ポートフォリオの全クラスの発行済み受益証券の総口数ベースで配分されます。 ポートフォリオは、ルクセンブルグの年次税、所有する有価証券等の取引関連手数料その他の費用を負担します。 その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
投資対象ファンドの運用管理費用	● 保管報酬：取引報酬（1取引当たり5.5米ドルから124米ドル）および年間報酬（証券の価額の0.0024%から0.45%） 上記の金額および料率は、投資対象国および場合により資産クラスにより異なります。 ● 管理事務代行報酬：年率0.20%を上限とします。 ただし、BGFの取締役会の裁量により変更されることがあります。 ● その他の費用：BGFの運営に関するすべての費用はBGFにより支払われます。

※手数料および費用等の合計額については、ポートフォリオの保有期間等に応じて異なるため表示することができません。
※外貨建ての投資信託を円資金から該当通貨に交換したうえでお申込みの場合、別途、為替手数料が片道1円／往復2円（上限）かかります。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

管理会社、その他の関係法人の概況

〈管理会社〉 **ブラックロック・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エー**	ブラックロック・グローバル・インベストメント・シリーズ（以下「BGIS」または「ファンド」といいます。）の管理・運用業務ならびに受益証券の発行および買戻業務を行います。
〈オルタナティブ投資ファンド運用会社〉 **ブラックロック・アセット・マネジメント・アイルランド・リミテッド**	ポートフォリオの組入証券の管理およびリスク管理等を行います。
〈投資顧問会社〉 **ブラックロック・ジャパン株式会社**	ポートフォリオの資産に関する投資運用業務等を行います。
〈保管受託銀行および管理事務代行会社〉 **ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルグ支店**	ファンド資産の保管受託銀行業務、会計帳簿の記帳および受益証券の純資産価格の計算業務を行います。
〈登録・名義書換事務代行会社および支払事務代行会社〉 **J.P.モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店**	ファンドの登録および名義書換事務代行会社として受益証券の発行、買戻業務等を行います。支払事務代行会社として支払事務代行業務等を行います。
〈管理業務会社〉 **ブラックロック・オペレーションズ（ルクセンブルグ）エス・エー・アール・エル**	会社関係業務および管理調整業務を行います。
〈総販売会社〉 **ブラックロック・インベストメント・マネジメント（UK）リミテッド**	受益証券の販売業務、販売促進業務およびマーケティング業務ならびに販売会社の選任を行います。
〈代行協会員〉 **三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社**	日本における代行協会員業務を行います。
〈日本における販売会社〉 **株式会社SMBC信託銀行**	受益証券の販売・買戻しの取扱業務を行います。